

# 令和7年9月定例会行政報告

## 1. 一般行政報告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 作況状況について
- 4) 外国人財誘致推進事業について
- 5) 令和7年度建設工事の発注状況について

令和7年9月8日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、6月定例会以後の行政報告を申し上げます。

## 1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、根室地方総合開発期成会としての要請活動であります。

根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言として、地域基幹産業の振興と基盤整備の促進、産業や暮らしを支える社会基盤整備の促進、国土の保全、自然環境の保全・整備と利活用の促進、安全・安心な地域づくりの推進、北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の推進、教育・文化施設等の整備促進などの重点要望に関して 釧路・札幌・中央の各段階におきまして要請活動を実施致しました。

6月24日には、北海道開発局 釧路開発建設部、釧路総合振興局 釧路建設管理部に、8月5日には 北海道、北海道議会及び北海道開発局に、翌6日には 国土交通省など 関係各省庁をはじめ地元選出国會議員に対し、要請を行いました。

併せて釧路根トライアングル整備構想 連絡会議として、防災・減災、国土強靱化等の着実な実施と予算確保、物流の効率化や安全性の確保のため、高規格道路 根室中標津道路と釧路中標津道路の整備促進などについて要請を行いました。

なお、8月5日、翌6日の要望には、議長も出席したところであります。

2) 次に、中標津空港利用促進期成会としての要請活動であります。

前段の根室地方総合開発期成会の要請日程にあわせ、8月7日に全日本空輸株式会社 東京本社に対し、「中標津空港の利用促進に関する要望」として、観光需要の回復や訪日外国人の増加を背景とした夏季の東京線複便化による利便性の向上や提供座席の増強と、関西方面からの新規路線開設について要請を行いました。

## 2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、6月定例会後に、

物品で	1件	
ふるさと納税で	1,813件	32,974,500円
企業版ふるさと納税で	2件	600,000円

の寄贈がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

## 3. 作況状況について

次に、3点目は、作況状況についてであります。

根室農業改良普及センター北根室支所が9月5日に公表しました、9月1日現在の各作物の生育状況によりますと、牧草につきましては、草丈は92センチメートルで、平年に比べ3センチ程高く、生育は順調

とのことです。

飼料用トウモロコシにつきましては、草丈は 319 センチメートルで、平年に比べ 27 センチ程高く、熟期も 7 日進んでいることから、適期に収穫が必要とのことです。

馬鈴しょにつきましては、平年より 4 日早く、てん菜につきましては、平年並みの生育となっておりますが、今後は、疫病のまん延防止に係る防除体制の徹底が必要とのことです。

大根とブロッコリーにつきましては、例年 7 月中旬から 10 月上旬まで順次収穫を行っておりますが、大根、ブロッコリー共に軟腐病<sup>なんぷびょう</sup>などの発生が懸念されておりましたが、概ね順調と聞いております。

近年の天候は、過去の観測状況が通用せず、今年も各地で観測史上最高気温の更新や局地的な大雨などによる影響が出ています。

今後も台風をはじめ天候の影響が心配ではありますが、穏やかに豊穰の秋が迎えられることを願っているところです。

次に、生乳の生産状況についてであります。中標津町管内の 4 月から 7 月までの累計生乳生産状況では、対前年比 106.1% で、生産者、関係団体のご努力により好調を維持しております。

今後も、需要に応じた生産を図るために、計画生産を行いつつ生乳生産目標の達成を目指していくところです。

農業情勢については、ウクライナ情勢や円安などの影響を受け、飼料価格などの高騰により厳しい農業経営となっております。

近年は農業者の経営努力と 2022 年 11 月以降に複数回にわたる乳価

の値上げにより、全国の2025年上半期の酪農業の倒産件数は4年ぶりにゼロ件となっており好転の兆しにあります。

今後も引き続き国内外の情勢を注視しながら、両農協をはじめ、各関係団体と連携しながら対応して参ります。

#### 4. 外国人財誘致推進事業について

次に、4点目は、外国人財誘致推進事業についてであります。

日本全国で人口減少が進む中、本町においても様々な業種で人手不足の状況が深刻化していることから、外国人材の誘致による地域の活性化と国際化の推進を目的とし、海外留学生や就労者を呼び込むための現地タウンセールスを令和5年度から実施しております。

今年度の第1弾として、私が6月22日から26日の日程で「ベトナム社会主義共和国」のホーチミン市に赴き、トップセールスを行ってまいりました。

現地では、留学や就労などの人材を国外へ送り出す事業者や教育機関を対象に、「中標津町タウンプロモーションinベトナム」と題し、町の様子や先進的な酪農、同国の人材が実際に就労している事業者からの紹介や、本町の外国人材誘致の取組みについてPRを行いました。

プロモーションには20団体39名の参加があり、本町への人材送進の進め方に関する質疑を受けるなど、関心の高さを伺うことができました。

併せまして、プロモーションの前後には、人材の送り出しを行う事

業者や教育機関を訪問し、意見交換を行っています。

なお、今回の現地タウンセールスには、昨年着任した同国出身の国際交流員が従事しました。

これまでの職歴や経験を活かした訪問先との協議や、タウンプロモーションにおける中標津町の紹介などを行うことで、本事業の深化に寄与したものと考えています。

本セミナーの開催を機に、外国人材の受入れの増加について、大きく期待しているところであります。

#### 5. 令和7年度建設工事の発注状況について

次に、5点目の令和7年度建設工事の発注状況についてであります  
が、令和7年8月27日現在でご報告申し上げます。

令和7年度の発注計画は、件数159件、金額にしまして、  
36億4,469万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で121件、率にしまして、  
76%となっております。

金額では、33億1,195万円、率にしまして、91%の発注となってい  
るところであります。

以上、5点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。